

募集定員
3名

研修期間
4年

責任者からのメッセージ

形成外科

病院教授 伊東 大



宮崎県には形成外科専門医も指導医もまだまだ足りません。2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医募集を開始しました。宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、都城市のさかいクリニック、東京都の国立病院機構災害医療センター・東京女子医大附属足立医療センター、埼玉県のかたぎりクリニック・川口市立医療センター・上尾中央総合病院、大阪市立総合医療センター、沖縄ハートライフ病院が連携施設です。さらに東京女子医大病院、鹿児島市立病院、久留米大学病院、大阪公立大学病院とプログラム連携しています。充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

プログラムの特徴

本プログラムでは、形成外科専門医となるために経験すべきすべての疾患に関し経験することが可能で、もちろん形成外科専門医取得が可能です。より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのも特徴です。

- 1 包括的な体表外科：**先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など体表面の外科的疾患すべてに豊富な症例数を有しています。
- 2 多種多彩な創傷に対応する外科的治療：**「創傷外科」として院内で発生する術後創に関するトラブルに対応しています。開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、消化器外科などの腹部手術後の創離開、皮膚科・整形外科での皮膚欠損創など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。創傷外科専門医の取得も可能です。
- 3 微小血管吻合技術を用いた再建手術：**外科系各科との緊密な連携により、頭頸部再建、腹壁再建、乳房再建、四肢再建など各種再建手術において遊

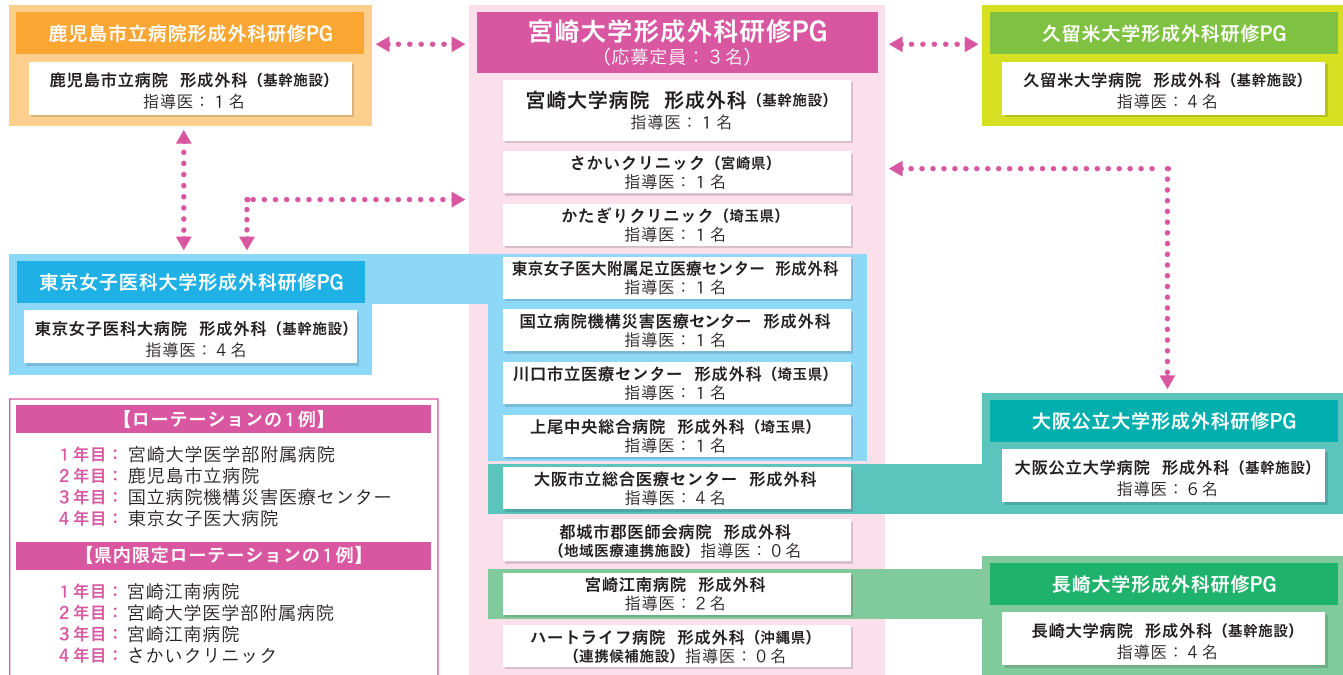
- 4 熱傷治療施設としての地域貢献：**これまで救命救急科・皮膚科が、宮崎県の熱傷治療を支えてきました。現在は当科も加わって協力し宮崎県の熱傷治療に大きく貢献しています。熱傷専門医の取得も可能です。
- 5 研究への取り組み：**遊離皮弁移植後の皮弁の血行動態や創傷治癒などの臨床研究に取り組んでいます。希望者には米国テキサス大学への研究留学も夢ではありません。

専門医取得までのタイムスケジュール(専門研修ローテーション)

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、9つの連携施設、及び4つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートす

ることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。このことは、専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。施設群における研修の順序や期間等については、専攻医を中心に考え個々の形成外科専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、研修プログラム管理委員会が決定します。

専門研修施設群



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 外科総合カンファ 回診
午前	外 来	外来 中央手術	中央手術	外 来	中央手術
午後	外来手術	中央・外来手術	中央手術	外来手術	中央手術
夕方	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	術前カンファレンス イブニングカンファ 回診	術後カンファレンス イブニングカンファ 回診、抄読会

先輩からのメッセージ

2015年発足した宮崎大学病院外科学講座形成外科分野は、現在医師4名で診療にあたっております。手術症例数は2025年の1年間で約350例でした。約1/3が他科との連携手術症例で、その殆どが再建手術であり、年々増加傾向です。つまり当科の特徴は、一人当たりの経験症例数が非常に多いため、経験値が急上昇。しかも他科からの紹介症例が多く、経験できる手術症例の種類が多様である事です。さらに形成外科学分野は外科学講座と大きな母体にいることで早急に様々な問題が解決できます。外科学講座内は非常にコミュニケーションがとりやすく、困った症例などで他科に相談するというストレスがなく解決できます。さらに外科の知識が豊富に吸収できる事も特徴です。是非見学に来てください！お待ちしております。



お問い合わせ先

担 当：伊東 大

T E L：0985-85-9786
F A X：0985-85-9788
e-mail：hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

形成外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/>



取得可能な専門医資格および技能

- 日本専門医機構 形成外科専門医
- 日本形成外科学会認定 特定分野指導医
 - 皮膚腫瘍外科分野指導医
 - 小児形成外科分野指導医
 - 再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
- 日本頭蓋顎顔面外科学会認定 頭蓋顎顔面外科専門医
- 日本熱傷学会認定 熱傷専門医
- 日本手外科学会認定 手外科専門医

プログラム達成目標

- 1 専門知識**
専攻医は専門研修プログラムに沿って(1)外傷、(2)先天異常、(3)腫瘍、(4)瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、(5)難治性潰瘍、(6)炎症・変性疾患、(7)その他、(8)美容外科について広く学ぶ必要があります。
- 2 専門技能**
形成外科領域の診療を(1)医療面接(2)診断(3)検査(4)治療(5)偶発症に留意して実施する能力の開発に務める必要があります。
- 3 4年間での手術経験数および執刀数**
基幹施設と連携施設を合わせた研修施設群全体について、専攻医1名あたり4年間で最低300例(内執刀数80例)の経験(執刀)症例数を必要とします。

主要症例名と実績数

主科別手術件数

診療科	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
形成外科	205	257	317	360	300	273	286	275
耳鼻咽喉科	34	33	15	8	9	12	8	12
歯科口腔外科	18	30	28	27	23	27	18	18
救急科	5	8	7	4	6	6	10	7
整形外科	10	10	5	12	9	7	9	5
外科	22	7	20	27	21	19	18	8
皮膚科	10	2	0	0	1	4	1	1
脳神経外科	7	3	3	3	2	1	4	2
産婦人科・N	1	0	1	0	4	2	1	2
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	312例	350例	396例	441例	375例	351例	355例	332例

